

1. 調査の目的

ウェットランド調査では、平成19年に整備された灰塚ダムの「知和ウェットランド」に生息する鳥類種を継続的に記録しています。知和ウェットランドは広島中部には数少ない「湿地環境」なので、広島を通過していく渡り鳥（旅鳥）にとって大事な中継地となることが期待されています。

2. 調査の実施状況

(1) 調査の実施日

今年度の秋季①調査は渡りをする鳥類がウェットランドを訪れる時期に合わせて設定しました。

調査時期	月 日
冬季	平成21年1月24～25日
春季	平成21年5月22～24日
初夏	平成21年6月10～12日
秋季①	平成21年10月3～5日
秋季②	平成21年11月 実施予定
平成22年（冬・春・夏・秋①・秋②）実施予定	

(2) 調査の方法

ウェットランド内に設定した5つの調査区に出現する鳥の種と数を記録しました。



調査区



朝・昼・午後は双眼鏡、望遠鏡を使って調査



夜間は主に鳴声を頼りに調査

3. 調査結果

今回の調査では、合計12目25科58種を確認しました。

- ◆ウェットランドの指標種（アシ原のような環境を好む代表選手）であるヒクイナを確認しました。
 - ◆渡りの途中でウェットランドで羽を休めているコヨシキリ、エゾセンニュウ、ノビタキ、メボソムシクイといった旅鳥を確認しました。
 - ◆日本で冬を越すコガモやヒドリガモ、オナガガモといった冬鳥がすでに渡来していました。
- 調査結果から、ウェットランドは目指している湿地環境に近づいてきており、鳥たちのすみかとして機能を高めていることがわかりました。

ウェットランドの旅鳥と冬鳥

ヒクイナ (10/5) (10/5に鳴き声により存在を確認)
水田や湿地や小川の草むらやヨシ原を好む代表選手です。キョッ...、キョッ...、という特徴的な声で鳴きます。



ノビタキ (10/4)

秋に渡りの途中で当地を訪れる旅鳥です。草地や荒地、畑などで見られます。



コヨシキリ (10/5)

主にヨシ原に渡来する旅鳥です。春夏には草のてっぺんなどにとまって「キョギョキリキリ...」と鳴きます。



エゾセンニュウ (10/5)

夏に北海道で繁殖し、渡りの途中でWLを通過する旅鳥です。やぶの中を潜行するように動き回ります。



コガモ (10/4)

夏はシベリアなど北方で繁殖し、日本で冬を越すカモの仲間です。まだエクリプス（非繁殖羽）です。



オナガガモ (10/4)

夏はシベリアなど北方で繁殖し、日本で冬を越すカモの仲間です。まだエクリプス（非繁殖羽）です。



ウエットランドに訪れた渡り鳥たち

～標識調査編～

知和ウエットランド内で平成21年10月4～5日に行った標識調査では、8種19羽の鳥類を捕獲・計測・標識・放鳥しました。その中には、5種の渡り鳥が含まれていました。

📍 標識調査とは・・・？

鳥類を捕獲し、体の測定等を行った後、ごく小さくて軽い足環をつけて鳥を放します。足環にはそれぞれ違う番号が入っており鳥に名札をつけるようなものです。その鳥が再び捕獲されれば、どんなルート・期間で渡るのか、同じ鳥が同じ場所へ帰ってくるのか、その間体重などが変動するのかが、などと聞いたことがわかります。

※調査は、環境省の許可を得て、標識調査の訓練を積んだ調査員が行っています。



コヨシキリ

大きさ：全長 13.5cm
いついるの？：広島には春と秋の「渡り」の途中に訪れます。

春～夏の間、北海道では低地、本州中部や九州では標高の高いところで繁殖します。

どんなところにいるの？：ヨシ原など背の高い草地を好みます。

とくちよう：白っぽい雪の上にも黒い色が入っているが特徴です。

夏は「ギヨギヨキリキリ」と草のてっぺんなどにとまってさえずります。



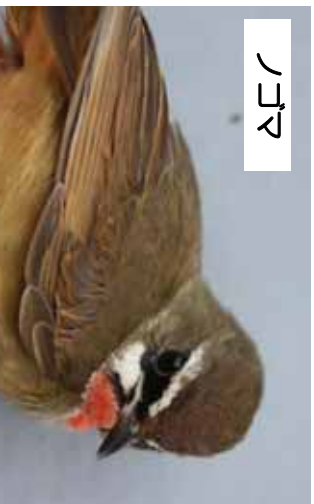
エゾセンニュウ

大きさ：全長 18cm
いついるの？：春と秋の「渡り」の途中に訪れます。

春～夏の間は北海道などで子育てをします。

どんなところにいるの？：やぶや草むらの中を動き回ります。

とくちよう：秋にはグツ、グツと地味な声で鳴いてやぶからあまり出さずせん。



ノコヤ

大きさ：全長 15.5cm
いついるの？：広島には春と秋の「渡り」の途中に訪れます。

春～秋の間は、北海道などで子育てをします。

どんなところにいるの？：低地・山地の林のふちややぶなどにいます。

とくちよう：オスのものに赤い模様が入っているのが特徴です。地面をはねるように歩いてミンヌや虫を食べます。



ノビタキ

大きさ：全長 13cm
いついるの？：広島には春と秋の「渡り」の途中に訪れます。

春～秋の間は、北海道や本州中部の高原などで子育てをします。

どんなところにいるの？：渡りのときには低地の畑や河原の草地にいます。

とくちよう：夏の間、オスは真っ黒な頭と翼をしていますが、秋にはオスもメスも全体的に茶色っぽい羽になります。



アリスイ

大きさ：全長 17.5cm
いついるの？：広島には春と秋の「渡り」の途中に訪れます。越冬するものもいます。

春～秋の間は、北海道や青森などで子育てをします。

どんなところにいるの？：農耕地の並木や低地・山地の林のふちややぶなどにいます。

とくちよう：アリスイを食べるキツツキの仲間です。長い首をよく動かして、「キイキイキイキイ」「シューシュー」といった声で鳴きます。